



No.1352 2023年4月17日

ARIB からのお知らせ

### 第 120 回規格会議の決議に基づく標準規格等の電子ファイルの公開について

3月3日（金）に開催された第120回規格会議の決議に基づき、標準規格（改定4件）と技術資料（策定1件、改定5件）について電子ファイルをARIB ホームページに公開しました。また廃止が決議されたもの（標準規格1件）についても、廃止理由等を掲載しましたのでお知らせいたします。標準規格等一覧 (<https://www.arib.or.jp/kikaku/index.html>) などからご覧いただけます。

また、ARIB 会員でない方向けに、ARIB Web Store (<https://webstore.arib.or.jp/jp/>) において標準規格等の販売を行っています。

#### 1 改定が決議された標準規格（議案順）

標準規格番号	最新版数	標準規格名
ARIB STD-T71	7.0	広帯域移動アクセスシステム（CSMA）標準規格
ARIB STD-T108	1.5	920MHz 帯テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備 標準規格
ARIB STD-T120	3.10	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB STANDARD
ARIB STD-T120	3.20	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB STANDARD

#### 2 廃止が決議された標準規格

標準規格番号	最新版数	標準規格名
ARIB STD-B5	1.0	垂直帰線消去期間を使用する伝送方式の標準テレビジョン・データ多重放送 標準規格

#### 3 策定が決議された技術資料

技術資料番号	最新版数	技術資料名
ARIB TR-B46	1.0	ARIB STD-B76 に基づいた番組制作システムの制御に用いる AMWA NMOS 解説 技術資料

#### 4 改定が決議された技術資料（議案順）

技術資料番号	最新版数	技術資料名
ARIB TR-T23	3.10	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB Technical Report
ARIB TR-T23	3.20	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB Technical Report
ARIB TR-B14	6.10	地上デジタルテレビジョン放送運用規定 技術資料
ARIB TR-B15	8.4	BS/広帯域 CS デジタル放送運用規定 技術資料
ARIB TR-B39	2.7	高度広帯域衛星デジタル放送運用規定 技術資料

### 標準規格等の英語翻訳版電子ファイルの公開について

新たに1件の英語翻訳版を公開しました。

#### 【通信分野】

規格番号等	標準規格名等
ARIB STD-T108	920MHz 帯テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備 標準規格
	920MHz-Band Telemeter, Telecontrol and Data Transmission Radio Equipment ARIB Standard

※「英語翻訳版」は、標準規格又は技術資料の正本から英語に翻訳されたものです。正本と翻訳版との間に内容、表現等に相違点があった場合は、正本を優先します。

#### ARIB の動き

### WRC-23 準備会合第2回（CPM23-2）の概要報告

CPM (Conference Preparatory Meeting) は WRC に向けた準備会合で、WRC で審議される各議題に対して選択し得る解決方法（メソッド）を検討し、その内容を CPM レポートとして取りまとめることを所掌しています。原則、WRC 直後に第1回、その次の WRC 開催の半年前頃に第2回が開催されます。

第1回会合（2019年11月）にて作業計画、作業分担が決定されて以降、約3年間余をかけてITU-R SG(Study Group)で各議題に関して共用検討、メソッド検討が行われました。その検討結果はCPMレポート案としてまとめられ、2022年11月に公開されています。

今回の第2回会合はCPMレポート案に基づき最終的な審議、更新作業を行い、CPMレポートを完成することを目的としています。議長はCindy Cook氏（カナダ）です。

## 1. 会合の概要

日程： 2023年3月27日（月）～4月6日（木）

場所： スイス（ジュネーブ）（Web会議併用）

参加者（登録者ベース）：

世界各国の主管庁・事業者・ベンダー等から2163名、日本から総務省国際周波数政策室杉本室長を団長に127名、当会から西岡理事、横山次長、加藤担当部長、佐藤（拓）主任研究員の4名が参加。



会議場の模様

## 2. 主要結果

CPMレポート案に対する各国、各地域等からの入力寄書を元に更新作業を実施し、CPMレポートを完成させました。下記にIMT関連の主な議題（議題1.1, 1.2, 1.4）の審議結果を示します。

### ・ 議題 1.1：4 800-4 990 MHz 帯における IMT 局に対する電力束密度（pfd）制限値の見直し

本議題は、決議第223（WRC-19）に従って、4 800-4 990 MHz 帯において、IMT局の干渉から、当該IMT局を運用する国の領土近くの国際空域・水域を航行する航空・海上移動業務の局を保護するための措置を検討し、無線通信規則 脚注 5.441B でIMT局に課されている電力束密度（pfd）制限値を見直すものです。

CPM レポート案の中には、内容が類似するメソッドが 3 つ含まれており、いずれも、航空・海上移動業務の保護を無線通信規則 9.21（同意取付け）で行い、pfd 制限は不要とする主旨でした。これらを今回 1 つのメソッドに統合し、結果として 6 メソッドに集約しました。また、IMT からのアグリゲート干渉量について、CPM レポート案の作成時に用いた値よりも、大きくなり得るとの共用検討結果が新たに入力され、その旨の記載がサマリ章に追加されました。

我が国は、国際空域・水域を航行する航空・海上移動業務の局を保護しつつも IMT 導入を促進するため現行の規則を見直すことを暫定見解としており、今後、支持し得るメソッドの特定、条件の具体化の検討を進める必要があります。

・ **議題 1.2： 3 300-3 400 MHz、3 600-3 800 MHz、6 425-7 025 MHz、7 025-7 125 MHz 及び 10.0-10.5 GHz 帯の IMT への特定の検討**

本議題は、決議第 245（WRC-19）に従って、移動業務への追加的な一次分配を含め、3 300-3 400 MHz（第一地域の脚注改正及び第二地域）、3 600-3 800 MHz（第二地域）、6 425-7 025 MHz（第一地域）、7 025-7 125 MHz（全地域）及び 10.0-10.5 GHz 帯（第二地域）の IMT への特定を検討するものです。

6 425-7 025 MHz（第一地域）及び 7 025-7 125 MHz（全地域）については、メソッド内容の明確化が図られ、新決議案では固定衛星業務（上り）保護を目的とした IMT 基地局の上方角度 eirp マスクが例として記載されました。また、6 425-7 025 MHz について、第三地域でも IMT に特定しようとする提案や、IMT 以外のブロードバンドサービスに関する事項も新決議案に含めようとする提案がありましたが、共にスコープ外として合意されず、CPM レポートでは、同提案があった事実のみを記載するにとどめました。

我が国は、7 025-7 125 MHz の IMT 特定を支持しており、今後、他業務の保護条件について更なる議論が必要です。また、6 425-7 025 MHz は本来、他地域が対象ですが、第三地域に広げようとする今回の関連提案やその審議結果も踏まえ、今後の対応について検討が求められます。

・ **議題 1.4： 2.7 GHz 未満の IMT 特定周波数帯における HIBS の使用**

本議題は、決議第 247（WRC-19）に従い、世界的又は地域的なレベルで、既に IMT に特定されている 2.7 GHz 未満の周波数帯の移動業務において、IMT 基地局としての高高度プラットフォーム局（HIBS）の使用を検討するものです。

4 帯域（694-960MHz, 1710-1885MHz, 1885-1980/2010-2025/2110-2170MHz, 2500-2690MHz）に対し、計 15 メソッドが作成されており、それぞれの内容や対応する規則改正案の明確化が図られました。694-960MHz については、脚注 5.313A（698-790MHz における国別 IMT 特定）に含まれる国は、世界的にも地域的にも調和されていないとして、HIBS 特定の対象外とする提案が出されました。審議の結果、合意はされませんでした。一つの見解として反映され、引き続き議論が想定されます。

我が国は、全帯域において既存一次業務、隣接業務を適切に保護することを前提に HIBS に特定することを支持しており、引き続き、HIBS 特定、適切な規制条件の合意に向けて対応が必要です。

・その他:

WRC-27 の議題については、情報共有を目的とした関連寄書が CPM に入力され、これらの情報が CPM レポートの付録 (Annex1) に取りまとめられました。同付録では、WRC-19 で決定された WRC-27 仮議題に関する状況等が簡単に紹介されるとともに、新たな提案に関しては、参照先の情報 (関係の入力寄書番号、各地域組織の URL) が列記される形となっています。

3. 今後の関連会合予定

8月14日～8月19日: APG23-6	オーストラリア (ブリスベン)
11月20日～12月15日: WRC-23	アラブ首長国連邦 (ドバイ)
12月18日～12月19日: CPM27-1	アラブ首長国連邦 (ドバイ)

参考: CPM23-2 の検討体制

議長	Ms Cindy Cook (カナダ)
副議長	Dr M. A. ABAGA ABESSOLO (ガボン) Dr M. A. EL-MOGHAZI (エジプト) Dr J. LIM (韓国) Mr S. PASTUKH (ロシア) Mr A. KUHN (ドイツ) Ms K. ZHU (中国)
WG1: 固定、移動、放送	Dr H. ATARASHI (日本) Mr U. A. MAHMUD (ナイジェリア)
WG2: 航空、海上	Mr M. ALHASSANI (アラブ首長国連邦)
WG3: 科学	Mr T. A. BAKAUS (ブラジル)
WP4: 衛星	Ms L. FERREIRA (ブラジル) Mr G. KWIZERA (ルワンダ)
WP5: 一般課題	Mr J. HUANG (中国)
PLEN-DG-A: 新議題の情報	Mr A. KUHN (ドイツ)

## 第 305 回業務委員会を開催

第 305 回業務委員会を開催しました。

- 1 日 時： 2023 年 4 月 12 日（水） 15 時 30 分～16 時 35 分
- 2 場 所： 当会第 2、3 会議室
- 3 議 題：
  - (1) 第 13 回定時総会等の予定について
  - (2) CPM23-2 会合の概要について
  - (3) 電波の日記念講演会の開催について
  - (4) 「照会相談業務」及び「ダイナミック周波数共用業務」に関する 2022 年度の実施概況について
  - (5) 各社からのトピックス
  - (6) その他

## ARIB 内会合（4 月 17 日～4 月 21 日）予定

4 月 17 日（月）	： 高度無線通信研究委員会 運営幹事会	Web 会議
4 月 19 日（水）	： 第 67 回無線 LAN システム開発部会	Web 会議併用
4 月 19 日（水）	： スタジオ設備開発部会 音声品質評価法作業班	Web 会議
4 月 19 日（水）	： 調査統計小委員会 第 32 回幹事会	Web 会議

## 国際会合（4 月 17 日～4 月 21 日）予定

4 月 17 日（月）	： FoBTV TC meeting	ラスベガス（NAB Show）
-------------	--------------------	-----------------



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<https://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)